

令和2年度（第14期第3回）小平市廃棄物減量等推進審議会
会 議 次 第

令和3年3月18日（火）
午後2時から
リサイクルセンター
2階 多目的ルーム

1 開 会

2 環境部長挨拶

3 講演

渡辺浩平副会長

「SDGsと食品廃棄物の発生抑制」

4 報告

5 その他

6 閉会

諮問事項

「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」（基本的事項）

配付資料

参考資料：小平市リサイクルセンターだより

えんとつNo.51、52、53

リサイクルきゃらばん実施報告

小平市の食品ロスについて（メモ）

ごみ収集車からの放送内容が変わります（市ホームページ）

会長	**開会の言葉と欠席委員、傍聴人について連絡**
事務局	**配布資料確認**
環境部長	**挨拶**
会長	それでは会議次第の3、講演に移ります。
事務局	<p>(副会長、渡辺浩平先生のプロフィール紹介)</p> <p>渡辺先生は帝京大学 文学部 社会学科で准教授として研究及び教鞭をとられておりまして、都市廃棄物を専門分野とされている専門家でいらっしゃいます。</p> <p>当審議会では、第11期から委員として小平市の廃棄物行政にも携わっていただいております。直近では、2月に行った食品ロスの実態調査においてもお力添えをいただいております。</p> <p>SDG sでも注目がされており、小平市の次期基本計画でも盛り込んでいくべき「食品ロス」の分野でご活躍をされている渡辺先生にご講演をいただけることとなりました。本日は各委員におかれましても有益な講話になるかと思っておりますので、審議会全体で学んでいきたいと思っております。</p> <p>それではご準備も整ったようですので、渡辺先生、よろしく願いいたします。</p>
副会長	<p>講演：「SDG s と食品廃棄物の発生抑制」</p> <p><u>食品廃棄物発生量の考察</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・供給と摂取の時系列分析等の紹介 <p><u>SDG s 及び日本における政策の変遷と紹介</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品リサイクル法 ・食品ロス削減推進法 ・第4次循環型社会形成推進基本計画 ・SDG s <p><u>食品ロスと食品廃棄物</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義と区分、対策を紹介 <p><u>小平市食品廃棄物組成調査【令和3年2月22日実施】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内から家庭系の燃やすごみ（400 kg）をサンプル採取 ・小平市は食品ロスの割合が少なく、食べ残しも少ないという結果 <p><u>食品を廃棄することに関する各種調査結果の紹介</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品廃棄への意識 ・環境への影響等 ・買い物前のチェックや計画、コンポスト等について
委員	国民健康栄養調査について、対象者を教えてください。
副会長	年間1万人程度で、1歳以上の方が対象となります。
委員	食品廃棄について検証する際に、重量とカロリーのそれぞれを基準とする見方がありますが、どちらが多く用いられていますでしょうか？

副会長 委員	環境省としては、ごみの重さを中心に調べているため、重量の基準が多いようです。組成調査について、1回の調査の結果だけで足りるものなのでしょうか？複数回の調査結果を基に、平均値をとる等の方法も考えられるかと思いますが、その点はいかがでしょうか？
副会長	複数回の調査を行うことができればよいとは感じています。たしかに、ごみの量や内容は、季節などの諸条件の影響も受けています。しかし、400～500キロのごみを採取できれば信頼性のあるデータは取れますので、現在のやり方にも意味があると考えます。
委員	国民性によって、食品の買い方やその量が違うのでしょうか？
副会長	日本が近所の小売店で必要に応じて必要な分だけ食品を買う場合もあるのに対して、アメリカでは一度に大量に買う傾向も多数見受けられます。とはいえ、日本でも地域によっては、大型スーパー等でまとめて買い物をするケースも増加しつつあり、アメリカのような食品の買い方が今後増えていくということも考えられます。
委員	コロナ禍によるネットショッピングの増加により、購入品が思っていたものと違っていった場合、食品ロスに繋がるのではないのでしょうか？
副会長	ロックダウンで買い物に行く頻度が落ちたことで、イギリスではコロナが流行してからは食品ロスが減ったとも言われています。どのように影響していくのかについては、今後注視していくことになります。
	講演終了、10分休憩
会長	それでは、再開いたします。 次第4の報告に移ります。
事務局	<p><u>リサイクルきゃらばんの開催報告及びマイバッグキャンペーン</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月21日（リサイクルセンター）、3月16日（東部公園） ・両日とも2名の市民ボランティアあり ・マイバッグキャンペーンは今後も実施予定 <p><u>ごみ処理広域支援及び新ごみ焼却施設整備事業</u></p> <p>→小平・村山・大和衛生組合では、ごみ焼却施設が老朽化、旧式化していることから、現在、新しいごみ焼却施設の整備を進行中</p> <p><u>広域支援とは…新しいごみ焼却施設の整備工事期間中、令和3年度から令和7年9月末までについて、小平・村山・大和衛生組合の燃やすごみの一部を多摩地域の他の市町村等のごみ焼却施設で処理してもらうことであり、小平市については、小平・村山・大和衛生組合に加え、ふじみ衛生組合（調布市）と柳泉園組合（東久留米市）に、燃やすごみの搬入を予定している。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域支援を実施することによっての分別変更や収集日の変更はなし ・新ごみ焼却施設は令和9年3月末に全体の工事完了予定 ・新ごみ焼却施設完成までのスケジュールや配置図を紹介

	<p><u>ごみ収集車の音声放送について</u> (変更前) メロディーのみ ↓ (変更後) ※令和2年12月末から メロディー+声によるメッセージ ・令和3年には緊急事態宣言に伴う市からののお知らせも放送</p> <p><u>指定収集袋のばら売りについて</u> ・市民からの要望もあるが、指定収集袋取扱店の商品陳列や在庫管理等に課題 ・商工会と連携し、実現に向けて検討へ</p> <p><u>リサイクルセンターの稼働状況報告及び地域還元エリア整備について</u> ・リサイクルセンターの施設概要や処理能力等について説明 ・地域還元エリアの整備工事(令和4年2月頃に工事しゅん工、3月頃から供用開始を予定)及び設計コンセプト等を説明</p> <p><u>小平市の食品ロスについて</u> ・全国おいしい食べきりネットワーク協議会設立までの経緯 ・小平市の取組みを紹介(1)未利用食品を回収するフードドライブ(2)食品ロス削減の啓発活動(3)生ごみを堆肥化するための事業</p>
委員	広域支援についてですが、収集時間に影響は出るのでしょうか？
事務局	<p>広域支援の開始に伴い、収集のルート等に変更は生じるので、実際に収集が行われるタイミングにも影響はあると思います。</p> <p>市民のみなさまにおかれましては、以前から広報等でお願ひしていると同様に、朝の8時までにごみを出していただきますようお願い申し上げます。</p>
委員	食物資源循環事業の参加世帯の増加は予定されていますか？
事務局	参加世帯の増加については、現状を把握しながら前向きに検討していきたいと考えております。
山谷会長	次第5のその他の報告事項しまして、環境部長からお願いいたします。
環境部長	※※4月1日付の異動について※※
山谷会長	では、次回第4回の開催日を決めたいと思います。
	⇒第4回目審議会開催日時：令和3年6月25日(金)の午後2時から
	～ 散 会 ～